

課題克服の知恵揃う

7年度水道イノベーション賞・広報大賞の受賞案件

水道イノベーション賞		
大賞	名古屋市上下水道局	災害復旧支援におけるフリーGISソフト「QGIS」の活用 —速やかな管路情報の整理・可視化・共有による調査・復旧活動の効率化
特別賞	神奈川県企業庁 横浜市水道局 川崎市上下水道局 横須賀市上下水道局 神奈川県内広域水道企業団	神奈川県内の水道5事業者が目指す「水道システム再構築」の取組み (脱炭素化に繋がる相模川上流からの優先取水)
	久留米市企業局	浄水施設における発動指令電源の容量市場への提供による脱炭素および収益増への取組み
水道イノベーション広報大賞		
広報大賞	熊本市上下水道局	まちなか水道管リニューアル大作戦 —伝えるチカラで、“見えない工事”を“見えるカタチ”に
広報特別賞	横浜市水道局	子ども向け水道工事体験模型を活用した新たな水道工事PR
	栗本鐵工所	水道イベントにあわせて、水道の大切さをアピール —ダクタイル鉄管に見立てた柱で、メッセージを発信
	大成機工	キッズニア甲子園への「水道施設パビリオン」出展

大賞 名古屋市 災害復旧支援GIS

広報大賞 熊本市 工事の市民理解深化

日本水道協会は8月26日、令和7年度「水道イノベーション賞」「水道イノベーション広報大賞」の受賞案件を公表した。イノベーション賞の大賞は、名古屋市の「災害復旧支援におけるフリーGISソフト『QGIS』の活用」で、速やかな管路情報の整理・可視化・共有による調査・復旧活動の効率化」が受賞。今年度の新設された広報大賞には、熊本市の「まちなか水道管リニューアル大作戦」—伝えるチカラで“見えない工事”を“見えるカタチ”に—が輝いた。このほか特別賞には神奈川県内5事業者（神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市・神奈川県内広域水道企業団）と久留米市、広報特別賞には横浜市、栗本鐵工所、大成機工が選出された。表彰式および受賞事例報告は、広島県立総合体育館で開催する7年度全国会議の初日（10月29日）に執り行われる。

水道イノベーション賞として平成26年度に創設は、水道事業を取り巻く課題の克服に向けて工夫のある取組みを行う日水の協正会員を表彰する制度

とて平成26年度に創設された。功績を讃え、ともに、受賞事例を広めることで日本の水道界が新たな取組みに着手する

機運を高めることをねらいとしている。水道イノベーション広報大賞は、今年度から新たに創設された。正会員のみならず賛助会員にも門戸を広げて広報・広聴活動の優れた事例を表彰する。

応募総数は▽水道イノベーション賞13件▽広報大賞128件。選考は日水協功績者審査会メンバーと水道専門紙による選考会の議論・投票で行われた。受賞団体と案件名は別掲の通り。

■大賞「名古屋市」名古屋市では、無償で利用できるオープンソースのGIS「QGIS」で被災地に簡易的な水道台帳システムを構築し、コストをかけることなく調査・復旧活動の迅速化を実現した。災害時の調査・復旧活動には管路情報の把握が必要不可欠であるが、GISで管理されている水

■広報大賞「熊本市」熊本市では、埋設物の多量な地元の調整の煩雑さが障壁となつて中心市街地の老朽管更新工事が思うように進んでいなかった中、事業の必要性に関する認知度の向上と工事情報の積極的な広報により、地域の理解を深めながら円滑な事業遂行を図っている。熊本市中心市街地配水

大規模施設を保有しない中小規模事業体にとつて、小容量でも容量市場に参入しやすい入札方法を確立したことが高く評価された。

■広報特別賞「横浜市」横浜市では、市民の十分な理解が得られていない配水管整備の重要性を幅広い世代にPRすべく子ども向けPRプロジェクトを立ち上げ、水道工事の重要性を遊びながら学ぶことができる「子ども向け水道工事体験模型」を製作。水道週間イベントや区民まつりなどに展示している。

掘削から管の取替え、埋戻しや管路工事の一連の手順を遊びながら直感的に理解させる手法は効果的であり、理解促進のみならず人材育成などにも資するとして高く評価された。

■同「久留米市」久留米市では、ポンプ等の節電能力を発電指令電源として価値化し、市の代わりに容量市場で売却可能な仲介業者（アグリゲーター）を一般競争入札手法で選定。1000kWh以上の電源容量がなくても、仲介業者との契約によつて容量市場へ参入できる手法を確立した。

■同「栗本鐵工所」栗本鐵工所では、水道の大切な管路老朽化の現状、耐震化の必要性などを水道利用者へ広く周知すべく、令和6年度に開催された神戸水道展に合わせたダクタイル鉄管を模した広告をJR駅構内に掲出。駅の柱を管に見立て、水道管の想いを代弁するユーモアなキャラクターを複数掲げた。

遊ぶ心を大切にしつつ水道に興味を持ってもらうための効果的な取組みである点が高く評価された。また、ライフラインを整備して街を守る仕事に興味や理解を深めてもらうとともに、水道事業の大切さを周知している。同パビリオンでは、キッズニアの街における既設管から新設管への分岐工事を「断水工法」で体験することができ、将来の水道事業の担い手としてのすそ野を広げる取組みとして高く評価された。

■同「大成機工」大成機工では、職業体験施設であるキッズニア甲子園に「水道施設パビリオン」を出展。子どもたちが水道の仕事を体験

することにより、ライフラインを整備して街を守る仕事に興味や理解を深めてもらうとともに、水道事業の大切さを周知している。同パビリオンでは、キッズニアの街における既設管から新設管への分岐工事を「断水工法」で体験することができ、将来の水道事業の担い手としてのすそ野を広げる取組みとして高く評価された。